2014年12月の格言

平成２４年１２月の格言は

ワンマン決定は
権力の現れではない
責任の現れなのである

すぐれた決定は
多数の人々の意見から出るのではなくて
優れた経営者の頭から生まれるのだ

ワンマン決定は権力の現れではない
責任のあらわれなのであり
決定の大原則である

経営者は
全ての結果について
全責任を負わなければならない

何がどうなっていようと
その責任をのがれることはできないのだ

全責任を負う者が決定するのが当然である

経営者の行う決定は
危険だけを伴うのではない

全ての人が喜ぶ決定も
また現実にはないのである

当然そこにあるのは
いろいろな反対を押し切るという
苦しい決定であるし

その苦しさは
反対を押し切られた側よりも
経営者の方がはるかに大きいといえよう

その苦しさに耐えなければならないのが
経営者の宿命なのである

一倉定先生著「一倉定の経営心得」事業活動の本質より